拉致問題啓発上映会

令和8年度　東大阪市　北朝鮮人権侵害問題啓発週間事業

アニメ「めぐみ」

「拉致被害者御家族ビデオメッセージ」



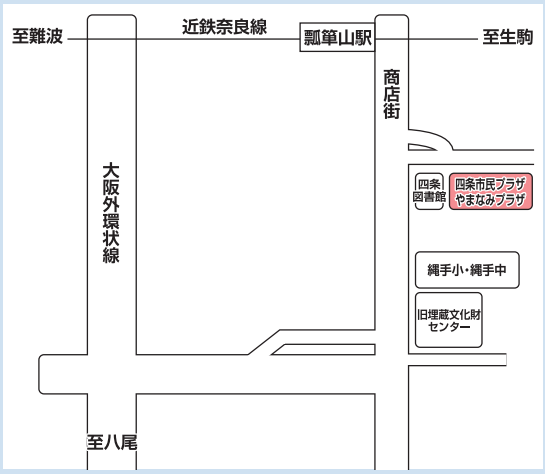


令和8年 12/19（土）

14:00～15:30頃（13:30 開場）

四条市民プラザ多目的ホール
（やまなみプラザ）

東大阪市南四条町1番7号（近鉄奈良線瓢箪山駅南へ約450m）



駐車券の発行はありません。公共交通機関をご利用ください。

入場無料

- 申込先着順（定員 100 人）
- 日本語字幕あり
- 手話通訳・要約筆記あり（申込不要）
- 一時保育あり（無料）
  （11 月 19 日までに要申込）

― 申込方法 ―

必要事項【①めぐみ②参加希望者全員のカナ氏名③電話番号④保育希望の場合はお子様のお名前と年齢】を記載のうえ、「電子申請システム・メール・電話・往復ハガキ・FAX」のいずれかの方法でお申し込みください。お申し込み後3日（土・日・祝除く）を過ぎても連絡がない場合は、お手数ですがお問い合わせください。

― お申し込み・お問合せ先 ―

東大阪市 人権文化部 人権室人権啓発課
〒577-8521 東大阪市荒本北１－１－１
電話 06-4309-3156 FAX 06-4309-3823
メール jinkenkeihatsu@city.higashiosaka.lg.jp

電子申請システム　メール　市ウェブサイト

主催：東大阪市・東大阪市教育委員会・世界人権宣言東大阪連絡会議・東大阪市人権啓発協議会



アニメ「めぐみ」は、昭和52年、当時中学1年生だった横田めぐみさんが、学校からの帰宅途中に北朝鮮当局により拉致された事件を題材に、残された家族の苦悩や懸命な救出活動の模様を描いたドキュメンタリー・アニメです。（約25分）



北朝鮮は2002年に初めて日本人の拉致を認めて謝罪しましたが、帰国が実現したのは5名のみで、被害者全員の帰国は実現していません。現在も御家族は肉親との再会を待ち続け辛い日々を過ごされており、その切なる思いを訴えています。（約41分）

出典：拉致問題ホームページ　http://www.rachi.go.jp/

「取り戻す」ためのシンボル　―ブルーリボン

拉致被害者の救出を求める国民運動は、ブルーリボンと青色を運動のシンボルにしています。
青色は、被害者の祖国日本と北朝鮮を隔てる「日本海の青」を、また、被害者と御家族を唯一結んでいる「青い空」をイメージしています。

12月10日から16日は「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」です。

平成18年6月に「拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題への対処に関する法律」が施行され、国及び地方公共団体の責務が定められるとともに、毎年12月10日から同月16日までを「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」とすることとされました。拉致問題は、国際社会を挙げて取り組むべき課題とされる中、この問題についての関心と認識を深めていくことが大切です。